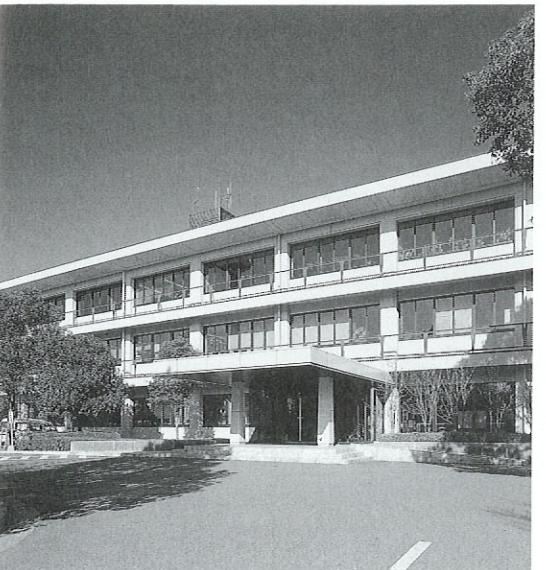


県民の健康を守るために人材・情報・方法を集積!

健康センター・県立保健学院・衛生公害研究所

健康であることは皆の願い。県では、地域で保健衛生の指導を行う保健婦や健康づくりのノウハウを伝えるリーダーを育てる機関を充実させ、県民の健康づくりを進めています。また、平成七年には、健康で快適な環境を守るための研究機関、衛生公害研究所を移転新築する予定です。



● 健康づくりの バックアップ

健康センター

その名の通り、県民の健康づくりの拠点として昭和六十年に開設された健康増進センターです。熊本市東町の通称自衛隊通りの桜並木と、構内の楠木立に囲まれるようにして立つ三階建ての建物は、広々として「ゆとり」を感じさせる造りになっています。ここには各種の研修室、実習室があり、保健所、市町村の公衆衛生関係者、地域の

リーダーなどの資質向上を目指して専門研修が行われています。
併設の体育館では、健康運動のリーダーや健康運動実践指導者の養成などを行っており、健康づくり教室では、県民の皆さん、バドミントンや卓球など汗を流されています。
また、多種多様な保健医療に関する情報を収集、分析し、保健所や市町村などが地域における健康づくりの企画や評価のために必要な情報を提供しています。

このように健康センターは、健康づくりに関係する人たちをバックアップすることにより、県民一人ひとりの健康づくりに寄与することを目指します。
公衆衛生看護活動を通じて、地域の人々すべてが健康で暮らせるようお手伝いをする保健婦。その養成を行っているのが、熊本市東町にある「熊本

県立保健学院」です。
教育内容は健康管理論、健康教育学、地域社会学など公衆衛生学全般です。
そこで特に行動学習（実習、演習、グループワーク等）の時間を多く取り入れ、より実践的な理論、知識の習得ができるような配慮がなされています。

昭和四十七年四月の開校以来、六百人を超える卒業生を送り出しており、うち約五百人が県内で就業（保健所・市町村の保健婦は約二百三十人）しています。

もうすぐ卒立つ第二

厚生省「平成2年都道府県別生命表」

データで見る熊本の保健医療

●くまもとの平均寿命
男 76.27歳…全国第19位、九州第2位、
全国平均76.04歳
女 82.85歳…全国第3位、九州第2位、
全国平均82.07歳

熊本の女性は強かー！

厚生省「平成2年都道府県別生命表」

●くまもとの合計特殊出生率
(一人の女性が一生の間に生む子どもの数)
1.69…全国第16位、九州第6位、
全国平均1.50

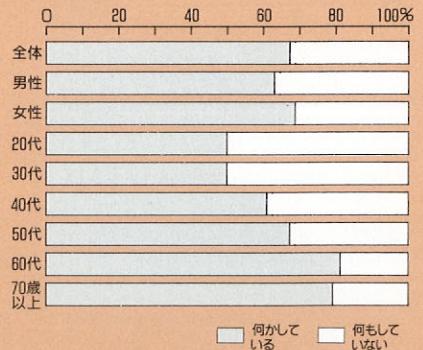
厚生省「平成4年人口動態統計」

●くまもとの病床数
(人口10万人に対する病床の数)
病院 2,049.1…全国第4位、九州第2位、
全国平均1,355.3
診療所 605.7…全国第1位、
全国平均217.4

厚生省「平成4年医療施設調査」

●あなたの健康づくりは?
(平成4年5月実施「県民健康意識調査」の結果から)

健康を保つために日頃行っていることがありますか?



日頃実行していることは何ですか?
(複数回答)

- 食生活のバランス 63.2%
- 睡眠を十分にとる 58.7%
- 適度な運動をする 52.2%
- 定期的な健康診断など 44.8%
- 酒、たばこなどの節制 18.6%

あなたは何をやっていますか?



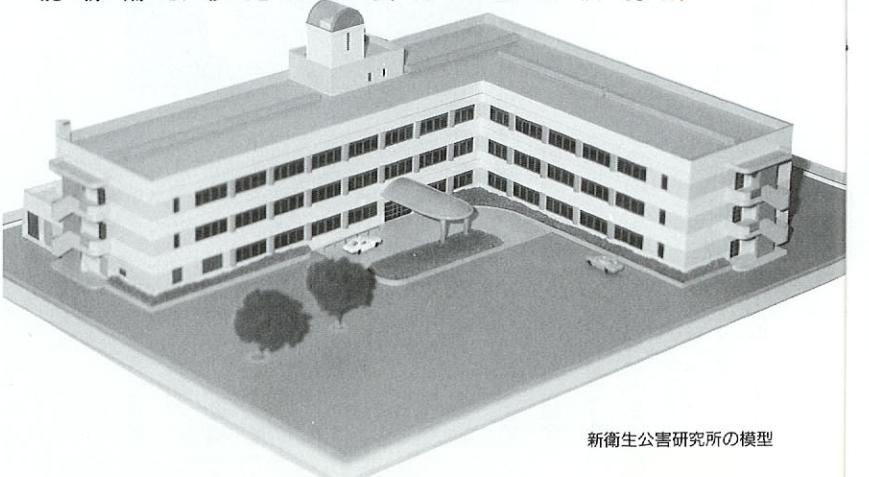
家庭看護の演習

十二期生も元気者がそろっています。
四月にはあなたの町の役場、保健所などでお目にかかることがあります。

● 県民の健康と環境を 厳しくチェック

衛生公害研究所

衛生公害研究所は、保健衛生や環境に関する中核的試験研究機関として設置されています。研究所では、県民の健康を増進し、熊本の素晴らしい自然・環境を保全するため、生物科学部、理化学部、大気部、水質部の四つの部に分かれ、それぞれの分野の専門職員が試験検査や調査研究などを行っています。研究所は、平成七年に熊本市から宇土市への移転新築することが決まり、現在建設中です。今回の移転に伴い、新たにバイオハザード実験室や無菌室、電子顕微鏡室などを整備し、より高度で精密な試験・検査業務に対応する研究所として、施設の機能アップを図ることとしています。



新衛生公害研究所の模型

な・る・ほ・ど HEALTH

■ 病院と診療所とどう違うの?

「病院に行ってきます」。皆さんよく「病院」という言葉を口にされます。正式には入院ベッドが20床以上が「病院」、19床以下が「診療所」と区分けされています。ご存知でしたか。

■ 熊本にいた“日本一の歯の健康おばあちゃん”

県では、歯の健康づくりとして、80歳で20本の歯を保とうという「8020運動」を推進しています。熊本市にお住まいの中西エイさんは103歳で26本の歯を保持し、日本歯科医師会お墨付きの“日本一の歯の健康おばあちゃん”です。

■ 注目されている保健医療面での国際協力

財国際保健医療交流センターは地方にある国際協力機関としては唯一、開発途上国の保健医療の向上のために積極的な活動を行っており、国内はもとより、国際的にも注目を集めています。

■ 保健士さんの第1号は誰?

現在女性だけに認められている保健士の資格が、平成6年から男性にも開放されることになりました。男性の視点・能力を活かして、あなたもチャレンジしてみませんか。